１．件名：原子力エネルギー協議会との面談

２．日時：令和２年１２月２５日（金）１０：００～１０：３５

３．場所：原子力規制庁８階会議室

４．出席者：

原子力規制庁　原子力規制部原子力規制企画課　森下課長、榎本補佐
技術基盤グループ技術基盤課　佐々木企画調整官

原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）　事務局長、他２名（テレビ会議システムによる出席）

５．要旨：

〇ATENA から、昨日（１２月２４日）付けで原子力発電所におけるデジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障緩和対策に関する技術要件書を発行した旨報告があった。

〇ATENA から、原子力施設の状況に応じた運転上の制限（LCO）等の継続的改善に係る検討に関して、具体的な課題については個社にて実用炉審査部門と調整を進めていることから、ATENA として関与すべき課題の見直しを行っている旨の報告があった。

〇ATENA から、サンプスクリーンを通過したデブリが炉心に与える影響に関する事業者側の検討状況に関し、事業者で実施している試験に関する現場視察が可能である旨提案があった。

〇ATENA から、原子力規制庁が依頼した非常用ディーゼル発電機の試験時間等の調査について進捗状況の説明を受けた。

〇原子力規制庁から、令和３年度の民間規格の技術評価計画に関する事業者意見の聴取に関し、資料ができ次第提出してもらいたい旨伝えた。面談後、ATENA から当該資料の提出があった。

〇ATENA から、来年２月に予定している ATENA フォーラムへの更田委員長の参加依頼についての回答をお願いする旨の発言があった。

６．配付資料：

・技術評価を希望する学協会規格について（案）

以上